

## 薬理試験、採血用

### 手術基本情報

- **系統**：Crl:CD(SD)
- **性別**：雌雄
- **週齢**：雄：7-8週齢、雌：8週齢
- **手術時間**：20-25分
- **術後観察期間**：1日間
- **微生物グレード**：ジャクソンラボラトリージャパン SPF項目
- **麻酔薬**：ケタミン・キシラジン混合麻酔薬
- **鎮痛剤**：カルプロフェン 5mg/kg S.C. SID 手術当日のみ
- **抗生物質**：投与なし(必要に応じて投与)

### カテーテル情報

- **素材**：ポリウレタンチューブ Access Technologies/Norfolk Medical Products , Inc
- **型番 サイズ**：BC-2P ID:0.3mm/OD:0.6mm
- **ゲージサイズ**：22G
- **カテーテル先端形状**：スクエア
- **デッドボリューム**：約50  $\mu$  l (手術動物証明書に記載)
- **充填剤**：グリセリン・ヘパリンNa混合液

### 処置概要

1. 体重測定及び一般症状観察を実施後、ケタミン及びキシラジンを用いた混合麻酔薬を腹腔内に投与する。
2. 股部及び頸背部を除毛し、イソジン液及び70%エタノール液を用いて術野を消毒する。
3. 股部及び頸背部皮膚を切開後、腹位に動物を固定し、鑷子を用いて鈍性に股部の筋層を切開し、大腿動脈を剥離露出する。
4. 大腿動脈遠位側を結紮し、大腿動脈を切開し、カテーテルを挿入、結紮固定する。
5. カテーテル誘導管にてカテーテルを頸背部まで導き、クリップを用いて背部術部を縫合固定する。

※本書式に記載された術式は、ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 手術グループ手順書「ラット 大腿動脈カニュレーション術」(承認No.1244)の内容に準ずる。

## 飼育、取扱いについて

頸背部よりカテーテルが出ているため個別飼育をお願い致します。カテーテルがケージトップに挟まる可能性がありますので、ケージトップが低いタイプは避けていただき飼育してください。

カテーテルのメンテナンスの為、最低3-5日に1回はフラッシングを実施してください。この期間以内でも血液の逆流が見られた場合はカテーテルの破損がないかを確認し、フラッシングを実施してください。

カテーテルのメンテナンス、採血、投与方法については別紙「カニュレーション動物の取扱い」をご参照ください。

## 配送情報

- **輸送箱**：プラスチッククレート
- **梱包形態**：仕切り板による個別梱包(1-3匹/クレート)



問合せ先

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル11F  
TEL: 045(474)9340 Email: ask@jax.or.jp